

# 福祉文化通信

2021.7.15 Vol. 92

●発行者／広報委員会  
福田泰紀・福山正和  
●作成／長瀬さやか

～ Well-being への道～

日本福祉文化学会事務局 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町4-4-13 南星ビル701 Tel/Fax: 06-4963-3410  
E-mail: jfukushibunka@gmail.com fukushibunka@lagoon.ocn.ne.jp ホームページ: http://fukushibunka.hippy.jp/



2021年2月27日(土)、コロナ禍で開催が危ぶまれた第31回全国大会沖縄大会が、沖縄の皆様のご尽力により、対面参加者約50名、オンライン参加者約40名の計約90名の参加者がありハイブリッドで開催されました。会場は、「沖縄福祉文化を考える会」の会員がオーナーである、

## OKINAWA 沖縄

### 日本福祉文化学会 第31回全国大会《沖縄》報告

佐野光彦

第31回 日本福祉文化学会 全国大会《沖縄》

2021年 2月27日(土)

那覇セントラルホテルでした。すばらしい施設でした。ご協力に感謝致します。大会前に福祉文化実践学会賞授与式が行われ、佐伯典彦さんが受賞されました。

さて今回のテーマは、「福祉文化がつながる沖縄の多様性」過去・現在・未来から考える」と2名の講演者として、5本の学会発表がありました。基調講演は、平良啓子氏「児童疎開船『対馬丸』を語る」でした。疎開船として民間人や児童ら計約1700名を乗せて那覇から長崎へ向かう途中、アメリカ海軍の魚雷攻撃を受け沈没し、約



1500名が死亡した事件がありました。海に漂流し、助かるまでの体験を詳細に語って頂いた。生き残った罪悪感、しかし伝えなければならぬと言ふ使命感が平良さんを活動の背景にはある。様々な体験を語り伝えて行く大切さ、今後の学会のあり方にも大きなヒントを与えてくれました。



## 書籍紹介

\*会員が関わって発行した冊子などを紹介します

Recommended Books

中国・四国ブロック会員松原徹さんが長年取り組んでこられた活動が出版されました。興味ある方はトコトコオフィス、学会ホームページからご確認ください。



### 松原さんからの本の紹介

青少年、子どもの問題が社会問題になっている現代に役立つ本を作りたいとの一心で、7年間書き溜めてきた名畑先生と子どもたちの会話を、2020年度1年間をかけて保育士・名畑俊子、デザイナー上杉雅紀氏、ヴォイスクリエーター松原徹、そしてトコ

トコハウスの子ども達が取り組んだ本です。講座でよく耳にする「先生、言うたらいいけんよ」という子どもの声。私は「言うたらいいけんよ」を「これぞ子どもの本音」なんだなと思いながら聴いています。この本を読んで名畑先生の子どもに向かう心構え、心を開かせるテクニックを垣間見ていただき、教育、子育てに役立てていただきたいと思っています。

## 福祉文化コラム

### 母の介護と学会での学び

島田治子 評議員

日本福祉文化学会に入る目的は、通常、研究や実践活動に役立つからというところが大半でしょう。しかし今回、母の介護をする中で、これまでで学んだことが、想像以上に役に立ちました。特に時間のない中で施設選びをしなくてはならなくなった時、心から本学会で勉強してきてよかったと思いました。その体験をここに綴ってみようと思います。

母が倒れたのは2020年2月29日。95歳という高齢の体はなだらかに衰えるのではなく、急にガクッと状態が悪くなります。今年3月には一夜にして自分で立ち上がれなくなりました。母の衰えと昼夜の介護が必要になった私の体的限界との狭間で、急ぎ、グループホームを見学し始めました。

一カ所目は実家から歩いて行けるA施設。閑静な住宅街の中にある新しい施設で、レクリエーションも行っているという。現在も外出・外泊OKというおらかさでした。気になったのは食事が配食サービス利用(今はこの形が多い)ということ。家庭風呂なので脚力のない母はシャワー浴しかできないというところ。「預金通帳の最後のページをコピーして提出してください」と当たり前のように言われたのは驚きました。

二つ目の施設Bは、道路を挟んだ向かい側に公園があり、木々がうっそうと茂っていて環境抜群でした。しかし「今はコロナだから」という理由で目の前の公園に行くことはなく、面会も家族は室外でガラス越しの対面が5、10分。食事は配食サービスの利用で皆さん完食です」とスタッフはいいます。施設での残食の多さを知っています。私は信じられない言葉でした。夜間のポータブルトイレの使用は断られたのに、認知症薬の使用は熱心に勧められ、すぐに寝たきりにされるのではなにかと感じました。

三つ目の施設Cは商業地のビルの中にあり、ハード面ではAやBより見劣りがしました。しかし食事とおやつはスタッフが手作りし、コロナ前はスタッフと入居者で買い物に行き、皆で食事作りをするのもあったそうです。今年の春も考え抜いた末、近くの桜並木で10分間だけのお花見をしたという、そうした時間を大切にすることを「これはすごい」と思いました。

提出書類の中にA4用紙3枚にぎゅうしり書き込む「暮らしの情報シート」と

いうものがあり、スタッフが入居者一人一人の人生を深く知って介護しようとしている姿勢を感じました。なじみの家具の持ち込みの推奨、入居者の役割を作る工夫、家庭風呂でも「なんとか浴槽に入ってもらいますよ」とこりする温かい雰囲気、介護スタッフの存在なども相まって、ここには本学会創設者の一番ヶ瀬康子さんが提唱した「福祉文化」があると直感しました。

それがわかったのは、福祉における文化を大事にする視点を学会で学んだからです。実際に入居した当日は不安で悲しげだった母が、翌日は穏やかに満足そうな表情になり「幸せだ」と言ったことから、福祉文化の重要性を強く再認識しました。

## 会員情報

- 2021年6月1日までに新規でご入会された方のお名前と所属ブロックをお知らせいたします。(敬称略)
  - 〈個人会員〉大河原 秀雄、松原 徹 (中国・四国ブロック) 矢ヶ部 陽一 (九州ブロック) 與那嶺 司 (関西ブロック)
  - 〈学生会員〉秋元 美咲、奈良場春輝 (関東ブロック) 矢野 裕子 (関西ブロック) ヨウケンホウ (九州ブロック)
  - 〈団体会員〉静岡福祉文化を考える会
- 2021年6月1日現在
  - 〈会員数〉個人会員 200名 / 学生会員 11名 / 団体会員 4団体

訃報 清水 将一様 (中部・東海ブロック) 生前のご活躍を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。

総務委員会理事

### 渡邊 豊

福祉文化は「現場」から 福祉文化は「地方」から～をモットーに、これまで 30 年間にわたり新潟で活動をしてきました。そしてこのたび、総務委員会を担当する理事となりました。これから3年間（2年後にはちょうど還暦となりますが）、どうぞよろしくお願いいたします。総務委員会の役割や事業・活動は何でしょうか？各委員会・ブロックの連結ピン、ハブ的な役割を果たし協働を進めて学会を盛り上げていきます。とはいえ今、委員会メンバーは私一人です。「これでいいんかい!?」、学会の夢を奏でる「夢奏」委員会に、あなたが必要です。

研究委員会理事

### 前嶋 元

様々な学会員と関わり、色々なお話をお聞きして、視野を広げていきたいと思っています。

現在、学会では福祉文化に関する自主研究グループ活動が行われています。研究委員会では、自主研究グループ活動をされている皆さんからぜひお話をお聞きして、それらを会員の皆さんに還元できたらいいなと思っています。他の委員会やブロックと協力しながら、福祉文化ブックレット、福祉文化通信、現場セミナーなど何かしらの形で発信し、皆さんが少しでも満足できる実践と研究を大切にしたい学会にしていけたらいいなと思っています。

編集委員会理事

### 塩田 公子

一番ヶ瀬先生の後輩から、「あなたにピッタリの学会」と話があり、入会して 22 年。特別支援学校の先輩教員に編集委員会をすすめられて 7 年。4 月から編集委員長を務めることになった。

コロナウィルスの感染防止による新しい生活様式は、研究活動を制限している。この状況で研究及び実践報告をまとめる会員達に敬意を払いたい。当学会が構築してきたものを大切に、会員の研究や実践を『福祉文化研究』31号に掲載していきたいと考えている。査読の先生方、ご協力をお願いします。

広報委員会理事

### 稲田 泰紀

広報委員会の活動は、福祉文化通信の発行、ホームページの更新および運営、福祉文化学会メールマガジンの発行を主とした活動を行っています。

魅力ある学会づくりの一つに学会のコトを知ってもらい、興味をもってもらう、参加してもらい視点もあると考えています。ぜひ、学会活動に興味を持ってもらい、色々な人に「日本福祉文化学会はこんなことしているよ」と皆さん自身が広報発信のアンテナ役を担って「つながり」を持って頂ければ幸いです。

\*学会ホームページ <http://fukushibunka.hippy.jp/>

# 新役員紹介

第8期の日本福祉文化学会役員の抱負などをお伝えします！

日本福祉文化学会会長

### 石田 易司

学会というものが今全国的に危機に瀕しています。福祉文化学会はそうした閉鎖的な学会の枠を超えて、研究者と実践者に開かれた学会です。

わかりやすい言葉で、今地域で実践されている活動を研究的な立場で、論理的に、誰もが理解できる言葉で表現することが、まず大切だと思っています。今、私たちの実践していることを、ぜひ言語化してみませんか。それが、この学会に共感する人を巻き込む第1の方法だと思っています。

副会長・研究倫理委員会理事

### 佐野 光彦

個人的には、研究と現場の融合を目指し、実践に力を入れて行きたいと思っています。

普段は、バングラデシュと、オールドニュータウンなどをフィールドにしています。若手の研究者、実践家をサポートするために、シニアの皆さんの力をお借りしたいです。

会員増をはかるために、全国のおもしろい人を発掘して行こうと思っています。学会の運営は、とにかく楽しくやって行きたいです。では、3年間よろしくお願いいたします。

九州ブロック理事

### 滝口 真

今年度から九州ブロックを担当させて頂くこととなりました滝口と申します。福祉思想、ソーシャルワーク、福祉レクリエーション支援など、福祉サービス利用者の生活に直結した福祉サービスの在り方に関心を持っています。これからの当ブロックとしては、各県域で予定されている福祉企画等を当ブロック会員に情報交換を行い相互に有効活用できればと願っています。是非とも行事企画等を滝口 (makoto-takiguchi@oita-u.ac.jp) までご連絡下さい。今後のブロックのネットワークの活性化を通して会員相互で交流できれば幸いです。宜しくお願いいたします。

## 2021年度補正予算書(案)

Table with financial data for 2021 budget supplement. Columns include category, 2021 budget, 2020 budget, difference, and notes. Total revenue is 2,538,450 and total expenditure is 1,011,851.

## 2020年度収支決算報告書

Table with financial data for 2020 annual accounts. Columns include category, 2020 actual, 2020 budget, difference, and notes. Total revenue is 2,937,641 and total expenditure is 1,107,414.

Summary table for 2020 accounts with columns A, B, C, D, E, BHDGHE, and total. Includes handwritten signatures and dates.

# 日本福祉文化学会 第32回全国大会の開催について

オンライン開催に変更します。

新型コロナウイルスの感染の収束が見込めない中、昨年度の沖縄大会に続いてオンラインでの開催となります。ご自宅や職場などから、全国大会に参加が出来るとても良い機会と捉えて頂ければ幸いです。

日程は10月30日(土)、31日(日)で調整をし、1日～2日間での実施を予定しています。研究発表はもちろんのこと、日本福祉文化学会の全国の方が作り上げる大会にしたいと考えています。決まりしだい、ホームページ、チラシや会員メーリングリストにてお知らせいたしますので、詳細はお待ちください。

\*詳細は後日ホームページやチラシなど会員の皆さまにお知らせいたします。

京都での開催は第33回に繰り延べる形で検討しています。京都を訪れたいとお考えの皆様は1年お待ちください。



# 日本福祉文化学会 2021年度 予算書 2020年度 収支決算 を報告します。

2020年度収支決算報告書は2021年度第1回理事会(2021年6月5日開催)で監査を受け承認されたことをここに報告いたします。2021年度予算書(案)は2021年度第1回理事会(2021年6月5日開催)で承認されました。総会までは(案)の状態でご報告させていただきます。なお、この件についてお問い合わせは事務局までご連絡ください。(9月末日まで)詳細は、学会ホームページをご覧ください。